

カッター研修 ～小学生～



国立淡路青少年交流の家

カッター研修【小学生】

概要

カッターボートと呼ばれる船舶を海上で漕ぐことにより、仲間と力をあわせることの大切さを学びます。また、自力で帰港することにより達成感を味わうことができます。

ねらい

- ◆自分たちの力で帰港し、達成感を得る。
- ◆グループの在り方について考える。
- ◆グループに対する個人の関わり方について考える。
- ◆リーダーシップ、コミュニケーション、協力について考える。

準備物

	準備物	必要数
1	●乗艇名簿	艇数分
2	●救助艇乗船申請書	必要な場合のみ
3	●水筒	人数分
4	●帽子	人数分
5	○タオル	人数分

※●はHPよりダウンロードしてください。

● 必要なもの

○ あると良いもの

服装

運動ができる服装

運動靴(サンダル・クロックス不可)

雨具(雨天実施の場合)

指導者、人数、費用など

対象	小学校5、6年生
指導	全体指導
出艇基準	・1艇につき大人2名以上(艇長・通信係)乗艇し、原則として18名以上25名以下 ・最大艇数は6艇。
費用	2艇以下: 7,000円 3艇以上: 14,000円
実施時間	3時間
実施場所	レクチャー: 艇庫
	実習: 海上
ふりかえり: 艇庫前	
時期	3月～11月



事前

- ・乗艇名簿をカッター実施前日までに提出する。
- ・救助艇乗船希望の場合、救助艇乗船申請書を乗船名簿と併せて提出する。
※小学生は3艇以上の場合のみ救助艇の出艇あり
- ・名簿に変更が生じた場合は、実施までに速やかに連絡する。

展開

	午前	午後	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	職員の動き
導入 (60分)	8:40	13:00	艇長・通信係への事前レクチャー		・艇長、通信係は艇庫に集合	説明
	9:00	13:20	課題説明・安全面のレクチャー	艇庫前集合 陸上に設置のカッターボートを使い、1グループがモデルとなり、乗艇から上陸までの流れを把握する。		説明
	9:40	14:00	岸壁へ移動、乗艇	岸壁へ移動、乗艇		指示
活動中 (90分)	10:00	14:15	出港	指揮艇の曳航により海上へ出る	・艇長は、安全面に注意し、舵の操作をする。また、艇のモチベーションを高めるよう声かけをする。 ・通信係は、職員の指示を艇長に伝える。	安全面の指示を無線で行う。 着岸時は指導及び補助を行う。
			洋上研修	実際にカッターボートを漕艇する		
			入港	自力で岸壁まで漕艇する		
			上陸、艇庫へ移動	上陸、艇庫へ移動		
まとめ (20分)	11:40	16:00	ふりかえり	指導者(当所職員)による研修のまとめ、児童の感想の発表		研修のまとめや発表に対するコメントなど
	12:00	16:20				

※詳しくは「カッター研修の流れ」をご覧ください。(HPよりダウンロードできます)
時間は目安です。艇数や海の状況により変わります。

留意点

安全上の留意点

- ・艇長は周囲の状況を常に把握し、他艇との接触が無いよう操艇する。
- ・櫂(オール)を倒す際に、櫂と舷の間に指を挟まないよう気を付ける。
- ・舷(船縁)に手をかけないこと。
- ・カッターボートへの乗り降りにははしごを使用するが、はしごの昇降は、陸側を向いて行う。
- ・入港時、川に入ったら休憩及び人員交代をしないこと。

指導上の留意点

- ・A艇員には、B艇員よりも力が強い者を配置する。
- ・適切な休憩が必要であるが、長い休憩は船酔いを引き起こすため注意する。
- ・艇員にわかりやすい掛け声をかける。

荒天時の対応

- ・少雨は実施可能
- ・風速が7m/sを超えたときは実施不可能
- ・雷発生時は実施不可能
- ・海の状況によっては晴天時でも実施できないことがある。

中止時の対応

- ・中止時の代替プログラムを考えておいてください。
- ・コミュニケーションを高めることができる実習等もあります。職員にご相談ください。

提出期限：
カッター実施前日まで

カッター乗艇名簿(小学生用)

団 体 名				実 施 人 数			
実 施 時 期				年 月 日(午前、午後)			
実 施 艇				号 艇 1～7号艇 (ただし4号艇は無し)			
役 割				氏 名			
氏 名				性 別			
年 齢				年 齢			
艇長※ (大人)				通信※ (大人)			
1 A※				1 B※			
2 A※				2 B※			
3 A※				3 B※			
4 A※				4 B※			
5 A※				5 B※			
6 A※				6 B※			
7 A※				7 B※			
8 A※				8 B※			
交代 1				交代 2			
交代 3				交代 4			
交代 5				※印のある役割は必ず必要です。			

出艇基準

- 1 小学校5年生以上のみ乗艇可
- 2 大人が2名(艇長・通信係)以上乗艇し、児童とあわせて18名以上25名まで

○乗艇者の氏名・性別・年齢を記入してください。(性別・年齢の省略不可)
 ○こぎ手として力が必要なため、A艇員にはできるだけB艇員より力の強い子どもを充ててください。
 ○ポートフック係は必ず必要です。力の強い子どもを充ててください。
 ○ロープ係も必ず必要ですが、ポートフック係の人が兼ねることができます。
 ○18名で実施する場合は、1Bはポートフック係を兼務、2Bはロープ係を兼務してください。

